



2023年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 坂 卷 一 樹  
(コード番号 4848 東証プライム市場)  
問 い 合 せ 先 財務IR部長 朝 武 康 臣  
電 話 番 号 03-4530-4830

### 自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ

当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。）第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 買付け等の目的

当社は、総還元性向50%を目標とし、株主の皆様への利益還元の充実化を図ることを株主還元の方針としております。今後も、収益力を強化し、経営効率の一層の向上を図るとともに、剰余金の配当と自己株式の取得を合わせた総還元性向50%を目標（以下「本利益還元目標」といいます。）とした株主還元を実施することにより、ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標とし、その実現を目指してまいります。

当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としており、会社法第454条第5項に規定する中間配当を行うことができる旨を定款に定め、配当の決定機関は、中間配当、期末配当ともに取締役会であります。また、内部留保につきましては、今後の事業展開への備えとシステムの整備及び社員教育といった社内体制の充実等に充当することにより、当社の継続的な成長を実現するための事業基盤整備に努める予定であります。

2021年12月期の配当につきましては、総還元性向50%の考え方に基づき、1株当たり44円の剰余金の配当（中間配当：21円、期末配当：23円）を総額1,604百万円で実施し、加えて、2022年2月10日開催の取締役会において、取得し得る株式総数の上限を533,900株、株式取得価額の総額の上限を903百万円（取得期間：2022年2月14日から同年3月24日）とする自己株式の取得を実施することを決議し、当該決議に基づき、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）における市場買付けの方法により当社普通株式の取得（取得した株式の総数：393,500株（取得当時の所有割合：1.08%（注1））、取得価額の総額：902,848,400円）を行いました。その結果、株主の皆様への利益還元額は合計で2,507百万円となり、2021年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益5,012百万円に対する総還元性向は50%（小数点以下を四捨五入）となりました。

（注1）当社が2022年3月28日に提出した第29期有価証券報告書に記載の2021年12月31日現在の当社の発行済株式総数（37,486,400株）と当社が2022年3月14日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の2022年2月28日現在の発行済株式総数（37,486,400株）は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の2022年2月28日現在の当社が所有する自

己株式数は 1,143,166 株であり、2022 年 2 月 16 日から同月 28 日までに取得した自己株式数は 138,400 株（ただし、単元未満株式の買取請求により取得した自己株式数を除きます。以下、取得した自己株式数において同じとします。）であることから、2022 年 2 月 10 日現在の当社の発行済株式総数は 37,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 1,004,766 株となりますので、その発行済株式総数（37,486,400 株）から自己株式数（1,004,766 株）を控除した株式数（36,481,634 株）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入。以下、取得当時の所有割合の計算において同じとします。）です。

上記のほか、これまでも当社は、本利益還元目標を基に、剰余金の配当に加えて、以下のとおり、自己株式の取得を実施しております。なお、当社は、会社法第 165 条第 2 項の定めにより、取締役会の決議をもって自己株式を取得することができる旨を定款に定めております。

取締役会決議日	取得（買付）期間	取得株式数 (取得当時の所有割合)	取得価額の総額	取得方法
2016 年 2 月 12 日	2016 年 2 月 22 日～ 2016 年 6 月 23 日	148,500 株 (0.39% (注 2))	99,957,100 円	市場買付け
2017 年 2 月 10 日	2017 年 2 月 13 日～ 2017 年 3 月 23 日	453,400 株 (1.18% (注 3))	497,995,500 円	市場買付け
2018 年 2 月 9 日	2018 年 2 月 13 日～ 2018 年 3 月 23 日	276,600 株 (0.73% (注 4))	681,916,800 円	市場買付け
2019 年 2 月 8 日	2019 年 2 月 12 日～ 2019 年 3 月 11 日	400,000 株 (1.06% (注 5))	706,000,000 円	公開買付け
2019 年 3 月 29 日	2019 年 4 月 4 日～ 2019 年 4 月 24 日	49,800 株 (0.13% (注 6))	120,193,900 円	市場買付け
2020 年 2 月 7 日	2020 年 2 月 10 日～ 2020 年 3 月 10 日	449,500 株 (1.21% (注 7))	991,597,000 円	公開買付け
2021 年 2 月 12 日	2021 年 2 月 15 日～ 2021 年 3 月 24 日	286,400 株 (0.78% (注 8))	551,875,800 円	市場買付け

(注 2) 当社が 2016 年 3 月 28 日に提出した第 23 期有価証券報告書に記載の 2015 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数（38,486,400 株）と当社が 2016 年 3 月 15 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2016 年 2 月 29 日現在の発行済株式総数（38,486,400 株）は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2016 年 2 月 29 日現在の当社が所有する自己株式数は 89,600 株であり、2016 年 2 月 25 日から同月 29 日までに取得した自己株式数は 89,600 株であることから、2016 年 2 月 12 日現在の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 0 株となりますので、その発行済株式総数（38,486,400 株）に対する割合です。

(注 3) 当社が 2017 年 3 月 27 日に提出した第 24 期有価証券報告書に記載の 2016 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数（38,486,400 株）と当社が 2017 年 3 月 15 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2017 年 2 月 28 日現在の発行済株式総数（38,486,400 株）は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2017 年 2 月 28 日現在の当社が所有する自己株式数は 315,600 株であり、2017 年 2 月 16 日から同月 28 日までに取得した自己株式数は 167,100 株であることから、2017 年 2 月 10 日現在の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 148,500 株となりますので、その発行済株式総数（38,486,400 株）から自己株式数（148,500 株）を控除した株式数（38,337,900 株）に対する割合です。

(注 4) 当社が 2018 年 3 月 26 日に提出した第 25 期有価証券報告書に記載の 2017 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数（38,486,400 株）と当社が 2018 年 3 月 15 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2018 年 2 月 28 日現在の発行済株式総数（38,486,400 株）は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2018 年 2 月 28 日現在の当社が所有する自

己株式数は 697,100 株であり、2018 年 2 月 16 日から同月 28 日までに取得した自己株式数は 95,200 株であることから、2018 年 2 月 9 日現在の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 601,900 株となりますので、その発行済株式総数 (38,486,400 株) から自己株式数 (601,900 株) を控除した株式数 (37,884,500 株) に対する割合です。

- (注 5) 当社が 2019 年 3 月 29 日に提出した第 26 期有価証券報告書に記載の 2018 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数 (38,486,400 株) と当社が 2019 年 3 月 14 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2019 年 2 月 28 日現在の発行済株式総数 (38,486,400 株) は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2019 年 2 月 28 日現在の当社が所有する自己株式数は 878,552 株であり、2019 年 2 月 13 日から同月 28 日までに取得した自己株式数は 0 株であることから、2019 年 2 月 8 日現在の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 878,552 株となりますので、その発行済株式総数 (38,486,400 株) から自己株式数 (878,552 株) を控除した株式数 (37,607,848 株) に対する割合です。
- (注 6) 当社が 2019 年 3 月 29 日に提出した第 26 期有価証券報告書に記載の 2018 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数 (38,486,400 株) と当社が 2019 年 4 月 12 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2019 年 3 月 31 日現在の発行済株式総数 (38,486,400 株) は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2019 年 3 月 31 日時点の当社が所有する自己株式数は 878,552 株であり、2019 年 3 月 30 日から同月 31 日までに取得した自己株式数は 0 株であることから、2019 年 3 月 29 日時点の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 878,552 株となりますので、その発行済株式総数 (38,486,400 株) から自己株式数 (878,552 株) を控除した株式数 (37,607,848 株) に対する割合です。
- (注 7) 当社が 2020 年 3 月 30 日に提出した第 27 期有価証券報告書に記載の 2019 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数 (38,486,400 株) と当社が 2020 年 3 月 13 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2020 年 2 月 29 日現在の発行済株式総数 (38,486,400 株) は変動しておらず、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2020 年 2 月 29 日現在の当社が所有する自己株式数は 1,328,352 株であり、2020 年 2 月 10 日から同月 29 日までに取得した自己株式数は 0 株であることから、2020 年 2 月 7 日現在の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 1,328,352 株となりますので、その発行済株式総数 (38,486,400 株) から自己株式数 (1,328,352 株) を控除した株式数 (37,158,048 株) に対する割合です。
- (注 8) 当社が 2021 年 3 月 29 日に提出した第 28 期有価証券報告書に記載の 2020 年 12 月 31 日現在の当社の発行済株式総数 (38,486,400 株) と当社が 2021 年 3 月 12 日に提出した自己株券買付状況報告書に記載の 2021 年 2 月 28 日現在の発行済株式総数 (37,486,400 株) であること、また、当該自己株券買付状況報告書に記載の 2021 年 2 月 28 日現在の当社が所有する自己株式数は 858,440 株であり、2021 年 2 月 17 日から同月 26 日までに取得した自己株式数は 80,500 株であること、加えて、当社が 2021 年 2 月 12 日に公表した「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ」に記載のとおり、2021 年 2 月 16 日付で当社が自己株式 1,000,000 株を消却していることから、2021 年 2 月 12 日現在の当社の発行済株式総数は 38,486,400 株、同日現在の当社が所有する自己株式数は 1,777,940 株となりますので、その発行済株式総数 (38,486,400 株) から自己株式数 (1,777,940 株) を控除した株式数 (36,708,460 株) に対する割合です。

このような方針の下、2022 年 11 月 11 日付「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社は、2022 年 12 月期通期連結業績予想を上方修正し、親会社株主に帰属する当期純利益の予想値については 6,173 百万円から 6,521 百万円に修正したことを踏まえ、2022 年 12 月期の配当につきましては、本利益還元目標を基に、期末配当予想を 2022 年 8 月 12 日に公表した 1 株当たり 32 円から 3 円増配となる 35 円に修正し、中間配当と合わせた 2022 年 12

月期の年間配当金予想を前期比 14 円増配となる 1 株当たり 58 円（中間配当：23 円、期末配当（予想）35 円）といたしました。

さらに、当社は、2022 年 11 月中旬に、2022 年 12 月期における本利益還元目標の達成に向けた株主の皆様への利益還元を実施する方法について検討を行い、一定量の自己株式の取得を実施することは、株主の皆様への利益還元の充実化を図ることができることに加え、当社の 1 株当たり当期純利益（EPS）及び自己資本当期純利益率（ROE）等の資本効率の向上に寄与すると判断し、自己株式の取得を選択肢として検討を開始することといたしました。また、自己株式の取得に際しては、大株主が所有する当社普通株式の一部を自己株式として取得することであれば、比較的短期間に一定規模の自己株式を取得することができるという観点から、当社の主要株主かつ筆頭株主（2022 年 6 月 30 日現在）である株式会社ヒラノ・アソシエイツ（所有株式数：13,626,600 株、当時の所有割合（注 9）：37.75%、以下「ヒラノ・アソシエイツ」といいます。）が所有する当社普通株式の一部を取得することを前提として検討することといたしました。なお、ヒラノ・アソシエイツは、当社の取締役会長である平野岳史氏の配偶者が代表取締役を務め、平野岳史氏が議決権の全てを所有する資産管理会社です。

（注 9）当社が 2022 年 11 月 14 日に提出した第 30 期第 3 四半期報告書に記載の 2022 年 9 月 30 日現在の当社の発行済株式総数（37,486,400 株）から、当社が 2022 年 11 月 11 日に公表した「2022 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の 2022 年 9 月 30 日現在の当社が所有する自己株式数（1,387,907 株）を控除した株式数（36,098,493 株）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入）をいいます。

自己株式の具体的な取得方法については、(i) 株主間の平等性、(ii) 取引の透明性、(iii) 市場価格から一定のディスカウントを行った価格での当社普通株式の買付けが可能であることにより、当該価格で買付けを行った場合には、当社資産の社外流出の抑制に繋がること、及び (iv) 大株主から一定規模の当社普通株式を自己株式として取得すること等を考慮し、十分に検討を重ねた結果、2022 年 11 月中旬に、金融商品取引所を通じた市場買付けの手法ではなく公開買付けの手法が適切であると判断しました。また、本公開買付けにおける買付予定数の決定に際しては、本公開買付けが本利益還元目標の達成に向けた株主の皆様への利益還元を目的としていることから、2022 年 12 月期の親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向が 50%となる取得価額を基に設定することとしました。さらに、本公開買付けにおける買付け等の価格（以下「本公開買付け価格」といいます。）の決定に際しては、当社普通株式が金融商品取引所に上場されていることを勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、基礎となる当社普通株式の適正な価格として市場価格を重視すべきであると考えました。その上で、2022 年 11 月中旬に、本公開買付けに応募せず当社普通株式を引き続き所有する株主の皆様への利益を尊重する観点から、当社資産の社外流出を可能な限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格により買付けることが望ましいと判断いたしました。

上記の判断を踏まえ、当社は、2022 年 11 月 14 日に、ヒラノ・アソシエイツに対して、本公開買付け価格を東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の市場価格から一定のディスカウントを行った価格として本公開買付けを実施した場合の応募の可否について打診したところ、2022 年 11 月 15 日に、ヒラノ・アソシエイツより、応募を検討する旨の回答を受けました。

これを受けて、当社は、本公開買付け価格にかかる市場価格に対するディスカウント率及びディスカウントの基礎となる当社普通株式の価格について検討を進めました。そして、2023 年 2 月 8 日に、市場価格に対するディスカウント率については、当社が 2019 年 2 月 8 日付の取締役会決議に基づき実施した自己株式の公開買付け（買付期間：2019 年 2 月 12 日から同年 3 月 11 日、以下「2019 年公開買付け」といいます。）及び 2020 年 2 月 7 日付の取締役会決議に基づき実施した自己株式の公開買付け（買付期間：2020 年 2 月 10 日から同年 3 月 10 日、以下「2020 年公開買付け」といいます。）のほか、当社による直近の自己株式の公開買付けである 2020 年公開買付けの公表日（2020 年 2 月 7 日）以降 2022 年 12 月までの間に公表された自己株式の公開買付けの事例 41 件（以下「本事例」といいます。）における公開買付け価格の市場価格に対するディスカウント率を参考に検討を進め、2019 年公開買付け及び 2020 年公開買付けにおいて公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日の終値に対して 10%のディスカウント率を適用していること、本事例において 10%程度（9%から 11%）のディスカウント率を採用している事例が 21 件と最多であることを踏まえ、同程度のディスカウント率を採用することが

適切であると考えました。また、2023年2月8日に、ディスカウントの基礎となる当社普通株式の適正な価格としては、当社が本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日の前営業日の終値を採用する方が当社の直近の業績が十分に株価に反映されており、算定根拠として客観性及び合理性をより確保することができると考え、当社が本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値を基準とすることが適切であると考えました。

上記の検討を経て、当社は、2023年2月9日に、ヒラノ・アソシエイツとの間で本公開買付けについて最終的な協議を行い、本公開買付けにおける買付予定数を485,900株（所有割合（注10）：1.35%）とし、本公開買付け価格を本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から10%ディスカウントした2,505円（円未満を四捨五入。以下、本公開買付け価格の計算において同じとします。）とすることをヒラノ・アソシエイツに対して提案しました。その結果、当社は、2023年2月9日に、ヒラノ・アソシエイツより、上記条件にて当社が本公開買付けを実施した場合には、その所有する当社普通株式の一部である485,900株（所有割合：1.35%、以下「応募合意株式」といいます。）を応募する旨、並びに、本公開買付けに応募しない当社普通株式13,140,700株（所有割合：36.39%）については、継続的に所有する方針である旨の回答を受けました。なお、本公開買付けにおいて、本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の数の合計が買付予定数を上回った場合には、その超える部分の全部又は一部の買付け等は行わないものとして、金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。以下「法」といいます。）第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令（平成6年大蔵省令第95号。その後の改正を含みます。以下「府令」といいます。）第21条に規定するあん分比例の方式による買付けとなることから、当社は応募合意株式485,900株のうちの一部を取得することとなりますが、ヒラノ・アソシエイツより、本公開買付けに応募したものの当社が取得することができなかった当社普通株式についても、継続的に所有する方針である旨の回答を受けております。

（注10）「所有割合」とは、当社が2023年2月10日に公表した「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」（以下「当社決算短信」といいます。）に記載の2022年12月31日現在の当社の発行済株式総数（37,486,400株）から、当社決算短信に記載の同日現在の当社が所有する自己株式数（1,377,051）を控除した株式数（36,109,349株）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入。以下、所有割合の計算において同じとします。）をいいます。

以上を踏まえ、当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、（i）会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として本公開買付けを行うこと、及び（ii）本公開買付け価格を本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から10%ディスカウントした2,505円とすることを決議いたしました。

加えて、本公開買付けにおける買付予定数については、本利益還元目標を達成する株式数を自己株式として取得する観点から、応募合意株式と同数となる485,900株（所有割合：1.35%）を上限とすることといたしました。

これを受け、2022年12月期については、（i）当社の株主の皆様への支払配当金の総額2,094百万円（1株当たりの通期の合計は58円）及び（ii）本公開買付けにより当社が取得する当社普通株式の取得価額の総額1,217百万円（応募合意株式（485,900株）に本公開買付け価格（2,505円）を乗じた金額）を合計すると株主の皆様への利益還元額は3,311百万円となり2022年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益6,622百万円に対する総還元性向は50%（小数点以下を四捨五入）となる予定です。

なお、ヒラノ・アソシエイツの代表取締役を平野岳史氏の配偶者が務め、平野岳史氏がヒラノ・アソシエイツの議決権の全てを所有していることから、当社の取締役会長である平野岳史氏は、本公開買付けに関して特別な利害関係を有する可能性があることを勘案し、本公開買付けの諸条件に関する協議及び交渉には当社の立場からは参加しておらず、また、上記2023年2月10日開催の取締役会における審議及び決議にも一切参加しておりません。

本公開買付けに要する資金については、その全額を自己資金により充当する予定ですが、当社決算短信に記載の2022年12月31日現在における当社の連結ベースの手元流動性（現金及び預金）は20,626百万円（手元流動性比率：3.8ヶ月（注11））であり、本公開買付けの買付け等に要する資金として1,218百万円を充当した後も、当社の手元流動性は19,409百万円程度（手元流動性比率：3.6ヶ月）と見込まれ、さらに、当社の今後の事業から生み出されるキャッシュ・フローは、当社決算短信に記載の2022年12月31日現在の営業キャッシュ・フロー6,796百万円に照らして、一定程度蓄積することが見込まれるため、当社の短期的な支払能力に問題は生じず、財務の健全性及び安定性は本公開買付け後においても維持できると考えております。

（注11）当社決算短信に記載の2022年12月31日現在における連結ベースの手元流動性を、当社決算短信から算出される当社の月商（2022年12月期の連結売上高を12ヶ月で除した数）で除した値（小数点以下第二位を四捨五入）です。

また、本公開買付けにより取得した自己株式の処分等の方針については、現時点では未定です。

## 2. 自己株式の取得に関する取締役会決議内容

### （1）決議内容

株券等の種類	総数	取得価額の総額
普通株式	486,000株（上限）	1,217,430,000円（上限）

（注1）発行済株式総数 37,486,400株（2023年2月10日現在）

（注2）発行済株式総数に対する割合 1.30%（小数点以下第三位を四捨五入）

（注3）取得する期間 2023年2月13日（月曜日）から2023年4月28日（金曜日）まで

### （2）当該決議に基づいて既に取得した自己の株式に係る上場株券等

該当事項はありません。

## 3. 買付け等の概要

### （1）日程等

① 取締役会決議	2023年2月10日（金曜日）
② 公開買付開始公告日	2023年2月13日（月曜日） 電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。 （電子公告アドレス <a href="https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/</a> ）
③ 公開買付届出書提出日	2023年2月13日（月曜日）
④ 買付け等の期間	2023年2月13日（月曜日）から 2023年3月13日（月曜日）まで（20営業日）

### （2）買付け等の価格

普通株式1株につき、金2,505円

### （3）買付け等の価格の算定根拠等

#### ① 算定の基礎

当社は、本公開買付け価格の決定に際しては、当社普通株式が金融商品取引所に上場されていることを勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、基礎となる当社普通株式の適正な価格として市場価格を重視すべきであると考えました。その上で、本公開買付けに応募せず当社普通株式を引き続き所有する株主の皆様の利益を尊重する観点から、当社資産の社外流出を可能な限り抑えるべく、

市場価格より一定のディスカウントを行った価格により買付けることが望ましいと判断いたしました。本公開買付価格にかかる市場価格に対するディスカウント率については、2019年公開買付け及び2020年公開買付けのほか、本事例41件における公開買付価格の市場価格に対するディスカウント率を参考に検討を進め、2019年公開買付け及び2020年公開買付けにおいて公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日の終値に対して10%のディスカウント率を適用していること、本事例において10%程度（9%から11%）のディスカウント率を採用している事例が21件と最多であることを踏まえ、同程度のディスカウント率を採用することが適切であると考えました。また、ディスカウントの基礎となる当社普通株式の適正な価格としては、当社が本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日の前営業日の終値を採用する方が当社の直近の業績が十分に株価に反映されており、算定根拠として客観性及び合理性をより確保することができると考え、当社が本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値を基準とすることが適切であると考えました。

そして、当社は、2023年2月9日に、ヒラノ・アソシエイツとの間で本公開買付けについて最終的な協議を行い、本公開買付価格を本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から10%ディスカウントした2,505円とすることをヒラノ・アソシエイツに対して提案した結果、同日に、ヒラノ・アソシエイツより、上記条件にて当社が本公開買付けを実施した場合には、応募合意株式485,900株（所有割合：1.35%）を応募する旨の回答を受けました。

以上を踏まえ、当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、本公開買付価格を本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から10%ディスカウントした2,505円とすることを決議いたしました。

本公開買付価格である2,505円は、本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から9.99%（小数点以下第三位を四捨五入。以下、ディスカウント率の計算において同じとします。）、同日までの過去1ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値2,741円（円未満を四捨五入。以下、終値の単純平均値の計算において同じとします。）から8.61%、同過去3ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値2,851円から12.14%、それぞれディスカウントした金額となります。

なお、当社が直近実施した自己株式の取得における取得価格と本公開買付価格との差異については以下のとおりとなります。

2018年2月9日付の取締役会決議に基づき、東京証券取引所における市場買付けにより当社普通株式を取得（取得期間：2018年2月13日から同年3月23日、取得した株式の総数：276,600株、取得価額の総額：681,916,800円）しており、取得価格の単純平均値は2,465円（円未満を四捨五入。以下、取得価格の単純平均値の計算において同じとします。）です。当該取得価格2,465円と本公開買付価格である2,505円との間には40円の差異が生じておりますが、これは、本公開買付価格の基礎とした2023年2月9日（本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円が、当該市場買付けによる取得価格の単純平均値2,465円に対して318円上昇しているものの、本公開買付価格の本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円に対して10%ディスカウントした価格としていることによるものです。

2019年2月8日及び2019年3月29日付の取締役会決議に基づき、2019年公開買付け（買付価格：1,767円、買付期間：2019年2月12日から同年3月11日、取得した株式の総数：400,000株）並びにその後の東京証券取引所における市場買付け（取得期間：2019年4月4日から同年4月26日、取得した株式の総数：49,800株、取得価額の総額：120,193,900円）により当社普通株式を取得しております。2019年公開買付けによる買付価格1,767円と本公開買付価格である2,505円との間に738円の差異が生じておりますが、これは、本公開買付価格の基礎とした2023年2月9日（本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場にお

ける当社普通株式の終値2,783円が、2019年公開買付けにおける買付け等の価格の基礎とした2019年2月7日（2019年公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所市場第一部における終値1,963円に対して820円上昇していることによるものです。また、当該市場買付けによる取得価格の単純平均値は2,414円であり、本公開買付価格2,505円との間に91円の差異が生じておりますが、これは、本公開買付価格の基礎とした2023年2月9日（本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円が、当該市場買付けによる取得価格の単純平均値2,414円に対して369円上昇しているものの、本公開買付価格は本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円に対して10%ディスカウントした価格としていることによるものです。

2020年2月7日付の取締役会決議に基づき、2020年公開買付けにより当社普通株式を取得（買付価格：2,206円、買付期間：2020年2月10日から同年3月10日、取得した株式の総数：449,500株）しております。2020年公開買付けによる買付価格2,206円と本公開買付価格2,505円との間に299円の差異が生じておりますが、これは、本公開買付価格の基礎とした2023年2月9日（本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円が、2020年公開買付けにおける買付け等の価格の基礎とした2020年2月6日（2020年公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所市場第一部における終値2,451円に対して332円上昇していることによるものです。

2021年2月12日付の取締役会決議に基づき、東京証券取引所における市場買付けにより当社普通株式を取得（取得期間：2021年2月15日から同年3月24日、取得した株式の総数：286,400株、取得価額の総額：551,875,800円）しており、取得価格の単純平均値は1,927円です。当該取得価格1,927円と本公開買付価格2,505円との間には578円の差異が生じておりますが、これは、本公開買付価格の基礎とした2023年2月9日（本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円が、当該市場買付けによる取得価格の単純平均値1,927円に対して856円上昇しているものの、本公開買付価格は本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円に対して10%ディスカウントした価格としていることによるものです。

2022年2月10日付の取締役会決議に基づき、東京証券取引所における市場買付けにより当社普通株式を取得（取得期間：2022年2月14日から同年3月24日、取得した株式の総数：393,500株、取得価額の総額：902,848,400円）しており、取得価格の単純平均値は2,294円です。当該取得価格2,294円と本公開買付価格2,505円との間には211円の差異が生じておりますが、これは、本公開買付価格の基礎とした2023年2月9日（本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円が、当該市場買付けによる取得価格の単純平均値2,294円に対して489円上昇しているものの、本公開買付価格は本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日の前営業日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円に対して10%ディスカウントした価格としていることによるものです。

## ② 算定の経緯

当社は、2022年11月中旬に、本公開買付価格の決定に際しては、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買付けることが望ましいと判断いたしました。

また、当社は、本公開買付価格にかかる市場価格に対するディスカウント率及びディスカウントの基礎となる当社普通株式の価格について検討を進め、2023年2月8日に、市場価格に対するディスカウント率については、10%程度（9%から11%）のディスカウント率を採用することが適切であると考え、ディスカウントの基礎となる当社普通株式の適正な価格としては、当社が本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値を基準とすることが適切であると考えました。

そして、当社は、2023年2月9日に、ヒラノ・アソシエイツとの間で本公開買付けについて最終的な協議を行い、本公開買付け価格を本公開買付けの実施を決議する取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から10%ディスカウントした2,505円とすることをヒラノ・アソシエイツに対して提案した結果、同日に、ヒラノ・アソシエイツより、上記条件にて当社が本公開買付けを実施した場合には、応募合意株式485,900株（所有割合：1.35%）を応募する旨の回答を受けました。

以上を踏まえ、当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、本公開買付け価格を本公開買付けの実施を決議した取締役会開催日（2023年2月10日）の前営業日である2023年2月9日の東京証券取引所プライム市場における当社普通株式の終値2,783円から10%ディスカウントした2,505円とすることを決議いたしました。

#### （4）買付予定の株券等の数

株券等の種類	買付予定数	超過予定数	計
普通株式	485,900株	—株	485,900株

（注1）応募株券等の数の合計が買付予定数（485,900株）を超えないときは、応募株券等の全部の買付け等を行います。応募株券等の数の合計が買付予定数（485,900株）を超えるときは、その超える部分の全部又は一部の買付け等を行わないものとし、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び府令第21条に規定するあん分比例の方式により、株券等の買付け等に係る受渡しその他の決済を行います（各応募株券等の数に1単元（100株）未満の株数の部分がある場合、あん分比例の方式により計算される買付株数は各応募株券等の数を上限とします。）。

（注2）単元未満株式についても本公開買付けの対象としています。なお、会社法に従って株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合は、当社は法令の手續に従い本公開買付けにおける買付け等の期間（以下「公開買付け期間」といいます。）中に自己の株式を買い取ることがあります。

#### （5）買付け等に要する資金

1,238,749,500円

（注）買付予定数（485,900株）を全て買付けた場合の買付代金に、買付手数料、本公開買付けに関する公告に要する費用及び公開買付け説明書その他必要書類の印刷費等の諸費用についての見積額の合計です。

#### （6）決済の方法

- ① 買付け等の決済をする金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地  
みずほ証券株式会社 東京都千代田区大手町一丁目5番1号
- ② 決済の開始日  
2023年4月5日（水曜日）
- ③ 決済の方法

公開買付け期間終了後遅滞なく、本公開買付けによる買付け等の通知書を本公開買付けに応募する株主（以下「応募株主等」といいます。）（外国の居住者である株主（法人株主を含みます。以下「外国人株主」といいます。）の場合はその常任代理人）の住所宛に郵送いたします。買付けは、現金にて行い、買付代金からみなし配当に係る源泉徴収税額（注）を差し引いた金額を応募株主等（外国人株主の場合はその常任代理人）の指示により、決済の開始日以後遅滞なく、公開買付け代理人から応募株主等（外国人株主の場合はその常任代理人）の指定した場所へ送金するか、公開買付け代理人の応募受付けをした応募株主等の口座へお支払いします。

(注) 本公開買付けに応募した場合の税務上の取扱いは、次のとおりです。(※)

(イ) 個人株主の場合

本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額が、公開買付者である株式発行人の資本金等の額(連結法人の場合は連結個別資本金等の額)のうち交付の基因となった株式に対応する部分の金額を超えるときは、その超える部分の金額(以下「みなし配当の金額」といいます。)は配当所得に係る収入金額となります。また、交付を受ける金銭の額からみなし配当の金額を除いた部分の金額は、株式の譲渡所得等に係る収入金額とみなされます。

なお、みなし配当の金額が生じない場合は、交付を受ける金銭の額の全てが株式の譲渡所得等に係る収入金額となります。

みなし配当の金額に対しては、原則として、その金額の20.315%(所得税及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)に基づく復興特別所得税(以下「復興特別所得税」といいます。):15.315%、住民税:5%)に相当する金額が源泉徴収されます(非居住者については、住民税は徴収されません。)。ただし、個人株主が租税特別措置法施行令第4条の6の2第12項に規定する大口株主等に該当する場合は、20.42%(所得税及び復興特別所得税のみ)を乗じた金額が源泉徴収されます。また、株式の譲渡所得等に係る収入金額から当該株式に係る取得費等を控除した金額は、原則として、申告分離課税の対象となります(国内に恒久的施設を有しない非居住者については、原則として、課税の対象となりません。)。なお、租税特別措置法第37条の14(非課税口座内の少額上場株式等に係る譲渡所得等の非課税)に規定する非課税口座の株式等について本公開買付けに応募する場合は、当該非課税口座が開設されている金融商品取引業者等がみずほ証券株式会社であるときは、本公開買付けによる譲渡所得等については、原則として、非課税とされます。なお、当該非課税口座がみずほ証券株式会社以外の金融商品取引業者等において開設されている場合には、上記の取扱いと異なる場合があります。

(ロ) 法人株主の場合

みなし配当の金額については、配当等の額となり、原則として、その金額に15.315%(所得税及び復興特別所得税)を乗じた金額が源泉徴収されます。また、交付を受ける金銭の額のうち、みなし配当の金額以外の金額は、有価証券の譲渡に係る対価の額となります。

(ハ) 外国人株主のうち、適用ある租税条約に基づき、当該みなし配当金額に対する所得税及び復興特別所得税の軽減又は免除を受けることができる株主で、かつ、それを希望する株主は、公開買付期間の末日までに公開買付代理人に対して租税条約に関する届出書をご提出ください。

(※) 税務上の具体的なお質問等につきましては、税理士等の専門家にご確認いただき、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

(7) その他

- ① 本公開買付けは、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて行われるものではなく、また、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段(ファクシミリ、電子メール、インターネット通信、テレックス及び電話を含みますが、これらに限りません。)を利用して行われるものでもなく、更に米国の証券取引所施設を通じて行われるものでもありません。上記方法・手段により、若しくは上記施設を通じて、又は米国内から本公開買付けに応募することはできません。

また、本公開買付けに係る公開買付届出書又は関連する買付書類は、米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、郵送その他の方法によって送付又は配布されるものではなく、かかる送付又は配布を行うことはできません。上記制限に直接又は間接に違反する本公開買付け

への応募はお受けできません。本公開買付けへの応募に際し、応募株主等（外国人株主の場合は常任代理人）は公開買付代理人に対し、以下の表明及び保証を行うことを求められることがあります。

応募株主等が応募の時点及び公開買付応募申込書送付の時点のいずれにおいても米国に所在していないこと。本公開買付けに関するいかなる情報（その写しを含みます。）も、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、これを受領したり送付したりしていないこと。買付け等若しくは公開買付応募申込書の署名交付に関して、直接間接を問わず、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段（ファクシミリ、電子メール、インターネット通信、テレックス及び電話を含みますが、これらに限りません。）又は米国内の証券取引所施設を使用していないこと。他の者の裁量権のない代理人又は受託者・受任者として行動する者ではないこと（当該他の者が買付け等に関する全ての指示を米国外から与えている場合を除きます。）。

- ② 当社は、2023年2月9日に、ヒラノ・アソシエイツより、当社が本公開買付けを実施した場合には、応募合意株式 485,900 株（所有割合：1.35%）を応募する旨、並びに、本公開買付けに応募しない当社普通株式 13,140,700 株（所有割合：36.39%）については、継続的に所有する方針である旨の回答を受けております。また、応募株券等の数の合計が買付予定数を上回った場合には、あん分比例の方式による買付けとなることから、当社は応募合意株式 485,900 株のうちの一部を取得することとなりますが、ヒラノ・アソシエイツより、本公開買付けに応募したものの当社が取得することができなかった当社普通株式についても、継続的に所有する方針である旨の回答を受けております。
- ③ 当社は、2023年2月10日付で「剰余金の配当に関するお知らせ」を公表しております。当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、2022年12月期の期末配当を1株当たり35円とし、2022年12月期において合計で58円の配当（中間配当：23円、期末配当：35円）を実施することを決議いたしました。詳細につきましては、当該公表の内容をご参照ください。
- ④ 当社は、2023年2月10日付で「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」を公表しております。当該公表に基づく、当社決算短信の概要は以下のとおりです。なお、当該公表の内容につきましては、法第193条の2第1項の規定に基づく監査法人の監査を受けておりません。詳細につきましては、当該公表の内容をご参照ください。

2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）の概要

（2022年1月1日～2022年12月31日）

（イ）損益の状況（連結）

決算年月	2022年12月期（第30期）
売上高	64,645百万円
売上原価	43,184百万円
販売費及び一般管理費	11,637百万円
営業外収益	144百万円
営業外費用	83百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	6,622百万円

（ロ）1株当たりの状況（連結）

決算年月	2022年12月期（第30期）
1株当たり当期純利益	183.11円
1株当たり配当額	58.00円
1株当たり純資産	657.21円

(ご参考) 2023年2月10日現在の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	36,110,749株
自己株式数	1,375,651株

以上